

令和6年
人口動態統計月報年計（概数）の概況
—島根県版—

目 次

人口動態調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

結果の概要

1 結果の要約・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

2 出 生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

（1）出生数・出生率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

（2）合計特殊出生率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

3 死 亡・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

（1）死亡数・死亡率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

（2）死因・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

4 婚 姻・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

5 離 婚・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

統計表

第1表 人口動態総覧（実数）の年次推移・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

第3表 母の年齢（5歳階級）別出生数の年次推移・・・・・・・・ 19

第4表 性・年齢（5歳階級）別死亡数の年次推移・・・・・・・・ 20

第5表 死因簡単分類別死亡数・死亡率（人口10万対）・・・・ 22

参 考

*算出に用いた人口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

島根県健康福祉部健康福祉総務課

T E L 0852-22-6329

F A X 0852-27-6317

人口動態調査の概要

1 調査の目的

我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の対象及び客体

「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況では昨年1年間に日本において発生した日本人の事象を客体とした。

3 調査の期間

令和6年1月1日～令和6年12月31日

4 調査の方法

市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。

5 報告の系統

市区町村 — 保健所 — 都道府県 — 厚生労働省

┌ 保健所を設置する市 ─┐

・特別区

6 結果の集計

集計は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、労使関係担当）で行った。

【利用上の注意】

1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

<人口動態統計速報>

数 値：調査票を作成した数

集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人（いずれも前年以前発生のもを含む）

公 表：毎月（調査月の約2か月後）

<人口動態統計月報>

数 値：概数

集計客体：日本における日本人（前年以前発生のもを除く）

公 表：毎月（調査月の約5か月後）

毎年（年間合計）（調査年の翌年6月）※本概況

<人口動態統計年報>

数 値：確定数（概数に修正を加えたもの）

集計客体：日本における日本人（日本における外国人、外国における日

本人及び前年以前発生のもものは別掲)

公 表：毎年（調査年の翌年9月）

2 諸率の算出基礎となる人口について

合計特殊出生率等の諸率の算出の基礎となる人口は、本「概数」においては、「令和6年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）によるものである。

3 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のあり得ない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
比率が微小（0.05未満）の場合	0.0
減少数（率）の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

4 用語の説明

自 然 増 減：出生数から死亡数を減じたもの

乳 児 死 亡：生後1年未満の死亡

新 生 児 死 亡：生後4週未満の死亡

早期新生児死亡：生後1週未満の死亡

死 産：妊娠満12週以後の死児の出産

周 産 期 死 亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの

合計特殊出生率：その年次の15歳～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性がその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

5 この概況で使用した数値は、令和5年以前は確定数である。

6 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。

結 果 の 概 要

1 結果の要約

(1) 出生数は減少

出生数は 3,622 人で、前年の 3,759 人から 137 人減少し、出生率（人口千対）は 5.7 で、前年の 5.9 を下回った（全国第 16 位）。

合計特殊出生率は 1.43 で、前年の 1.46 を下回った（全国第 3 位）。第 1 位は沖縄県（1.54）、第 2 位は福井県（1.46）、第 3 位は鳥取県、島根県、宮崎県（1.43）である。

(2) 死亡数は減少

死亡数は 10,440 人で、前年の 10,461 人から 21 人減少した。死亡率（人口千対）は 16.5 で、前年の 16.3 から 0.2 増加した（全国第 9 位）。

死因別にみると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は老衰、第 3 位は心疾患となっている。全死亡に占める割合はそれぞれ 22.7%、13.8%、12.6%である。

(3) 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△6,818 人で、前年の△6,702 人から減少数が 116 人増加し、自然増減率（人口千対）は△10.8 で、前年の△10.5 より減少率が 0.3 増加した（全国第 35 位）。本県では平成 4 年以降、死亡数が出生数を上回る自然減が続いている。

(4) 死産数は増加

死産数は 90 胎で前年の 65 胎より 25 胎増加し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は 24.2 で、前年の 17.0 を上回った。死産率のうち、自然死産率は 14.0（前年は 10.7）、人工死産率は 10.2（前年は 6.3）となっている。

(5) 婚姻件数は減少

婚姻件数は、1,982 組で、前年の 2,095 組から 113 組減少し、婚姻率（人口千対）は 3.1 で、前年を下回った（全国第 41 位）。

平均初婚年齢は夫 30.5 歳、妻 29.3 歳で、夫は前年より 0.5 歳上昇、妻も前年より 0.4 歳上昇した（全国平均は夫 31.1 歳、妻 29.8 歳で、夫

は前年と同じ、妻は前年より 0.1 歳上昇した)。

(6) 離婚件数は増加

離婚件数は 830 組で、前年の 799 組から 31 組増加し、離婚率（人口千対）は 1.32 で前年の 1.25 を上回った（全国第 40 位）。

表 1 人口動態総覧

	実数			率		平均発生間隔	
	令和6年	令和5年	対前年増減	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年
出生	3,622	3,759	△ 137	5.7	5.9	2時間25分6秒	2時間19分49秒
死亡	10,440	10,461	△ 21	16.5	16.3	50分20秒	50分14秒
乳児死亡	3	9	△ 6	0.8	2.4	121日16時間	40日13時間20分
新生児死亡	1	4	△ 3	0.3	1.1	365日	91日6時間
自然増減	△ 6,818	△ 6,702	△ 116	△ 10.8	△ 10.5	…	…
死産	90	65	25	24.2	17.0	4日1時間20分	5日14時間46分9秒
自然死産	52	41	11	14.0	10.7	7日27分41秒	8日21時間39分30秒
人工死産	38	24	14	10.2	6.3	9日14時間31分34秒	15日5時間
周産期死亡	14	11	3	3.9	2.9	26日1時間42分51秒	33日4時間21分49秒
妊娠22週以後の死産	13	7	6	3.6	1.9	28日1時間50分46秒	52日3時間25分42秒
早期新生児死亡	1	4	△ 3	0.3	1.1	365日	91日6時間
婚姻	1,982	2,095	△ 113	3.1	3.3	4時間25分11秒	4時間10分52秒
離婚	830	799	31	1.32	1.25	10時間33分15秒	10時間57分49秒

	令和6年	令和5年
合計特殊出生率*	1.43	1.46

* 分母に用いた人口
5歳階級別総人口(総務省推計)

注: 出生・死亡・自然増減・婚姻・離婚率は人口千対。乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対。

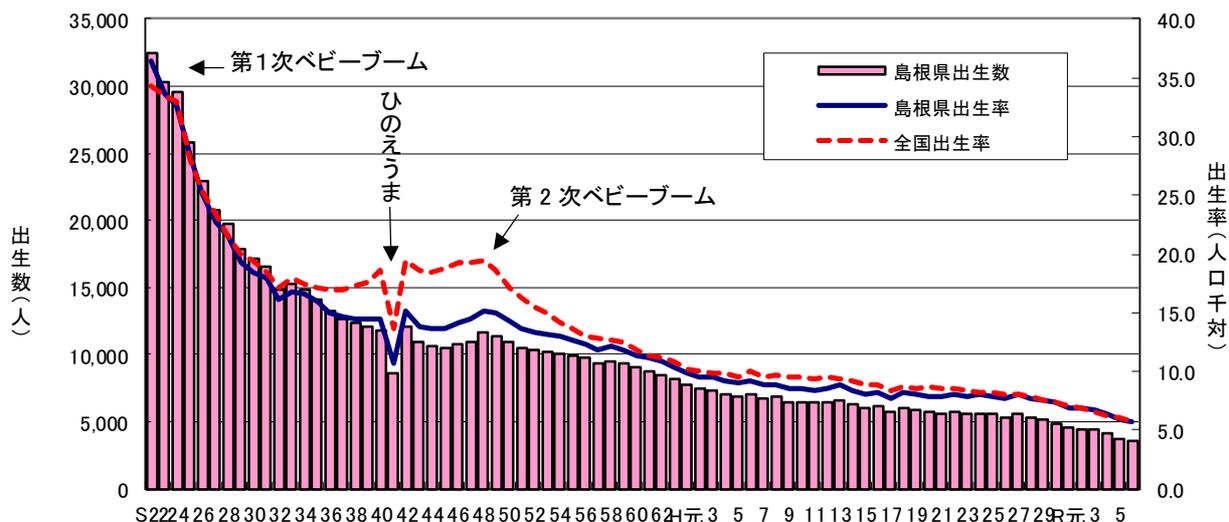
死産率は出産(出生+死産)千対。周産期死亡率及び妊娠満 22 週以後の死産率は出産(出生+妊娠満 22 週以後の死産)千対である。

2 出生

(1) 出生数・出生率

令和6年の出生数は3,622人で、前年の3,759人から137人減少し、出生率（人口千対）は5.7（全国第16位）で、前年の5.9を下回った。出生数、出生率ともに昭和46～49年の第2次ベビーブーム以降、ゆるやかな減少傾向が続いている（図1）。

図1 出生数・出生率（人口千対）の年次推移



出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、20歳～24歳、40歳～50歳以上の各階級が前年より増加し、その他の各階級では減少した（表2）。

表2 母の年齢（5歳階級）別にみた出生数

母の年齢	出生数				対前年増減		
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	4年－3年	5年－4年	6年－5年
総数	4,415	4,161	3,759	3,622	△ 254	△ 402	△ 137
～14歳	-	-	-	-	-	-	-
15～19	35	13	22	14	△ 22	9	△ 8
20～24	341	344	285	298	3	△ 59	13
25～29	1,246	1,224	1,070	1,027	△ 22	△ 154	△ 43
30～34	1,568	1,448	1,361	1,308	△ 120	△ 87	△ 53
35～39	984	894	811	757	△ 90	△ 83	△ 54
40～44	231	227	207	213	△ 4	△ 20	6
45～49	10	11	3	4	1	△ 8	1
50歳以上	-	-	-	1	0	0	1

出生順位別にみると、令和6年は前年より全順位で減少した（表3）。

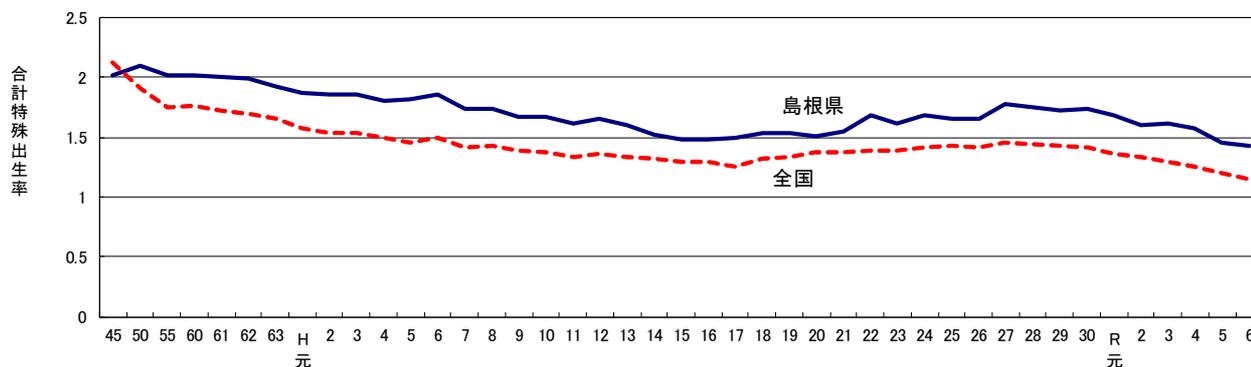
表3 出生順位別にみた出生数の年次推移

出生順位	出生数				対前年増減		
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	4年－3年	5年－4年	6年－5年
総数	4,415	4,161	3,759	3,622	△ 254	△ 402	△ 137
第1子	1,811	1,686	1,510	1,493	△ 125	△ 176	△ 17
第2子	1,556	1,504	1,405	1,312	△ 52	△ 99	△ 93
第3子以上	1,048	971	844	817	△ 77	△ 127	△ 27

(2) 合計特殊出生率

令和6年の合計特殊出生率は1.43であった。全国と比較すると、昭和50年以降一貫して島根県が上回っており、令和6年の順位は全国第3位である(図2)。

図2 合計特殊出生率の年次推移



○算出方法

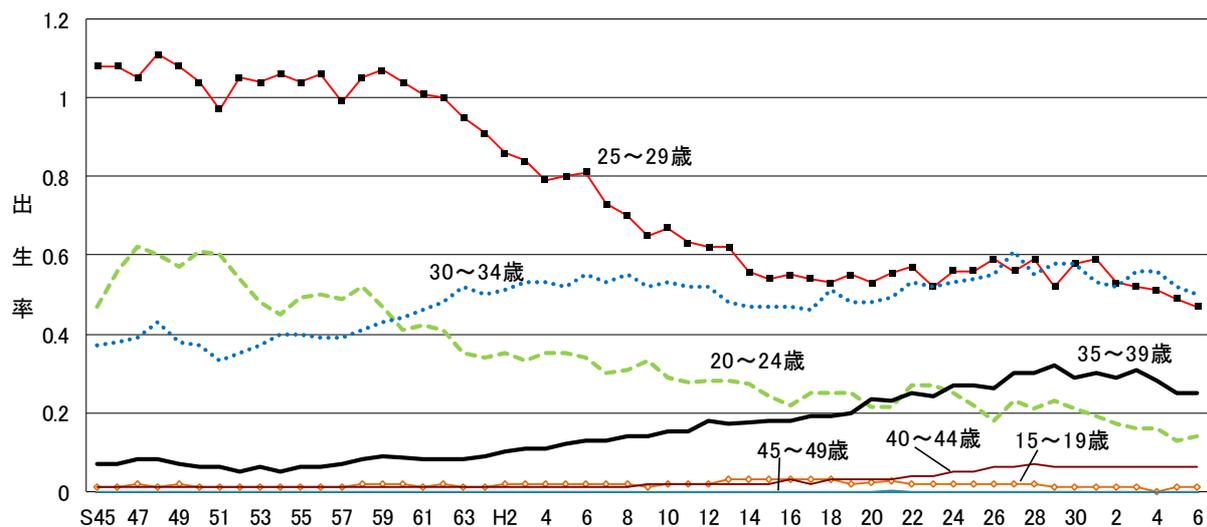
※1 ※2
「(母の年齢別出生数) ÷ (年齢別女性人口)」の15歳から49歳までの合計

※1 (母の年齢別出生数) = (分子): 「人口動態統計」(厚生労働省)

※2 (年齢別女性人口) = (分母): 「推計人口」(総務省、ただし国勢調査年は国勢調査における日本人人口)

母の年齢（5歳階級）別出生率の昭和45年以降の推移を見ると、年により多少の増減があるものの、概ね20歳代では低下傾向、30歳代では上昇傾向にある。令和6年は20～24歳の階級でわずかに上昇し、25～34歳の各階級で下降、その他の各階級で前年と同一の数値となっている（図3）。

図3 母の年齢(5歳階級)別出生率の年次推移



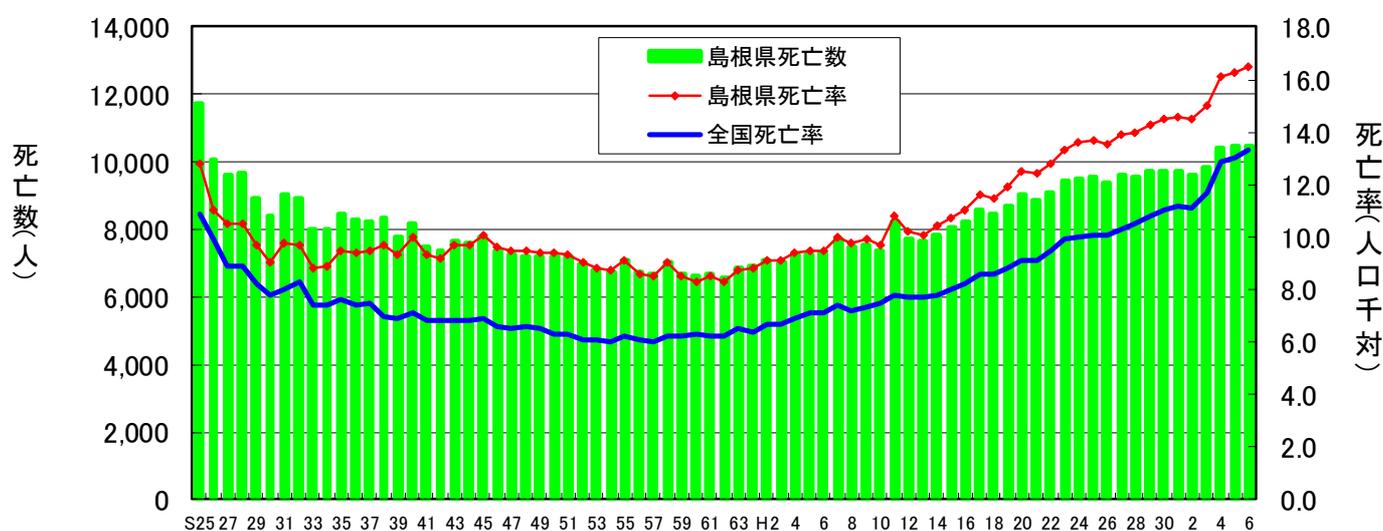
3 死亡

(1) 死亡数・死亡率

令和6年の死亡数は10,440人で、前年の10,461人より21人減少し、死亡率（人口千対）は16.5で、前年の16.3から0.2増加した。

死亡率の年次推移をみると、戦後急速に低下したが昭和30年代半ばから低下傾向が緩やかになり、昭和63年からは人口の高齢化に伴って再び上昇し始め、その後も上昇傾向を続けている（図4）。

図4 死亡数・死亡率の年次推移



年齢階級別に死亡率（人口10万対）をみると、10～24歳、30～34歳、40～54歳、75歳以上の各階級が前年より増加し、0～9歳、25～29歳、35～39歳、55～74歳の各階級が前年より減少した。75～79歳の階級の増加が最も大きい。

死亡率性比（男性の死亡率／女性の死亡率×100）を年齢階級別にみると、0～4歳及び15歳以上の各階級において100以上となっており、男性の死亡率が高いことを示している（表4）。

表4 年齢（5歳階級）別死亡数・死亡率（人口10万対）・死亡率性比

年齢階級	死亡数			死亡率			死亡率性比
	令和6年	令和5年	対前年増減	令和6年	令和5年	対前年増減	
総数	10,440	10,461	△ 21	1,654.5	1,634.5	20.0	97.0
0～4	5	13	△ 8	23.8	59.1	△ 35.3	150.0
5～9	4	6	△ 2	15.4	23.1	△ 7.7	92.3
10～14	3	2	1	10.7	7.1	3.6	50.0
15～19	12	4	8	41.4	13.8	27.6	280.0
20～24	11	6	5	45.8	25.0	20.8	846.2
25～29	4	10	△ 6	17.4	41.7	△ 24.3	275.0
30～34	17	13	4	65.4	48.1	17.3	222.9
35～39	13	16	△ 3	41.9	50.0	△ 8.1	109.4
40～44	33	21	12	91.7	56.8	34.9	113.3
45～49	55	48	7	131.0	111.6	19.4	136.4
50～54	99	86	13	225.0	204.8	20.2	209.4
55～59	118	145	△ 27	310.5	391.9	△ 81.4	247.1
60～64	211	228	△ 17	527.5	556.1	△ 28.6	263.8
65～69	338	382	△ 44	768.2	848.9	△ 80.7	238.0
70～74	739	838	△ 99	1,449.0	1,551.9	△ 102.9	245.3
75～79	1,102	969	133	2,344.7	2,202.3	142.4	231.3
80～	7,676	7,674	2	9,138.1	9,135.7	2.4	127.4

注1) 死亡率性比＝男性の死亡率／女性の死亡率×100

(2) 死因

①死因順位

令和6年の死亡数を死因順位別に見ると、第1位は悪性新生物で2,369人（人口10万対死亡率375.4）、第2位は老衰で1,444人（228.8）、第3位は心疾患で1,318人（208.9）となっている（表5）。なお、全国の死因は、第1位が悪性新生物、第2位が心疾患、第3位が老衰となっている。

主な死因の年次推移を見ると、悪性新生物による死亡率は上昇を続け、昭和59年以降、死亡原因の第1位となった。心疾患の死亡率は、平成12年に死亡原因第2位となって以降上昇傾向にある。老衰の死亡率は、ほぼ横ばいに推移し、平成19年以降は上昇傾向にある。脳血管疾患の死亡率は、平成12年以降概ね横ばいで推移していたが、近年下降傾向にある（図5）。

また、死因別の死亡率を都道府県別に比較した場合、本県は、誤嚥性肺炎（全国第2位）、血管性及び詳細不明の認知症（全国第3位）、アルツハイマー病（全国第5位）の死亡率が高い水準を示している。

図5 主要死因の死亡率の年次推移

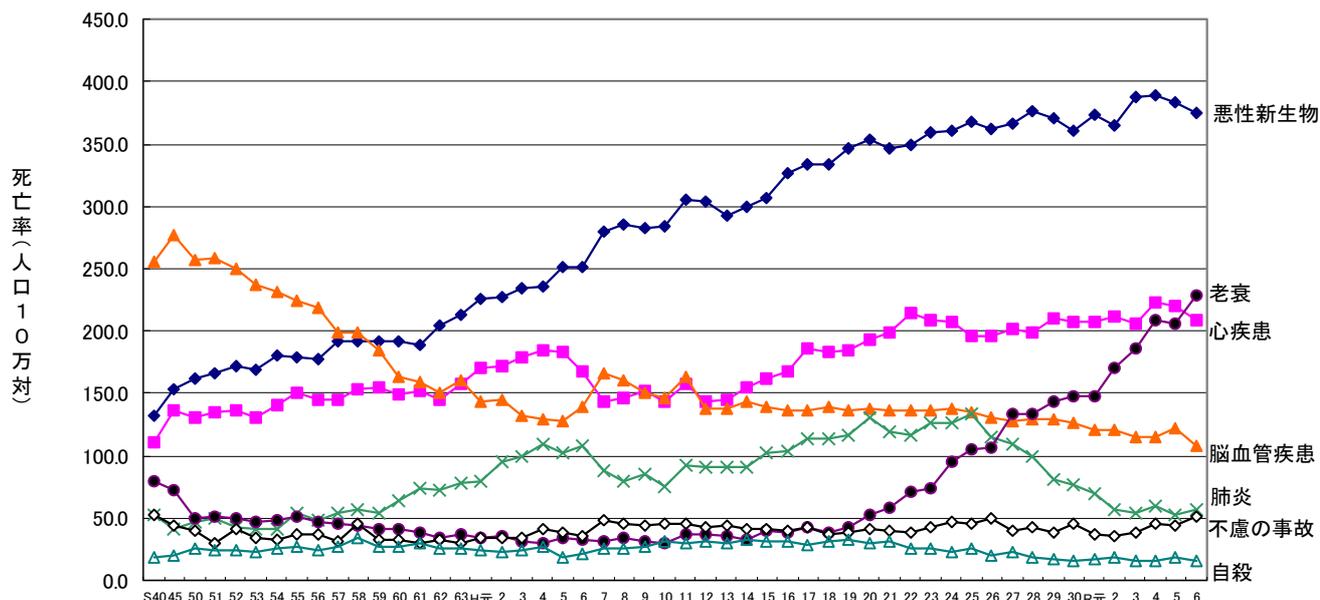


表5 死亡数・死亡率（人口10万対）・死因順位；性別

死 因	令和6年									令和5年		
	総数			男性			女性			総数		
	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率	順位	死亡数	死亡率
悪性新生物<腫瘍>	1	2,369	375.4	1	1,316	430.1	2	1,053	324.0	1	2,454	383.4
老 衰	2	1,444	228.8	3	375	122.5	1	1,069	328.9	3	1,314	205.3
心疾患(高血圧性を除く)	3	1,318	208.9	2	560	183.0	3	758	233.2	2	1,405	219.5
脳血管疾患	4	681	107.9	4	325	106.2	4	356	109.5	4	780	121.9
誤嚥性肺炎	5	498	78.9	5	279	91.2	5	219	67.4	5	444	69.4
肺炎	6	359	56.9	6	187	61.1	7	172	52.9	6	335	52.3
不慮の事故	7	320	50.7	7	184	60.1	9	136	41.8	7	285	44.5
アルツハイマー病	8	262	41.5	12	82	26.8	6	180	55.4	8	246	38.4
血管性及び詳細不明の認知症	9	237	37.6	11	87	28.4	8	150	46.2	10	237	37.0
腎 不 全	10	223	35.3	9	110	35.9	10	113	34.8	11	199	31.1

注1) 令和5年は確定数

2) 男性の8位は「新型コロナウイルス感染症」で死亡数121 死亡率39.5。10位は「間質性肺疾患」で死亡数98 死亡率32.0である。

3) 令和5年の9位は「新型コロナウイルス感染症」で死亡数240 死亡率37.5。

4) 「新型コロナウイルス感染症」は令和6年から追加した死因であるが、本表の令和5年の死因順位は遡及しているため、過去に公表した令和5年の死因順位とは異なる。

②年齢別死因

令和6年の死因を性・年齢（5歳階級）別構成割合から見ると、死因順位第1位の悪性新生物の占める割合は、男性は概ね30代から増加し、70～74歳がピークとなっている。女性は、25～29歳の割合が最も高いものの、概ね30代から増加し、35～49歳、55～69歳では5割以上を占めている。また、自殺の占める割合は、男性が25～29歳、女性においては20～24歳が高くなっている。（図6）。

図6-1 性・年齢（5歳階級）別に見た主な死因の構成割合（男性）

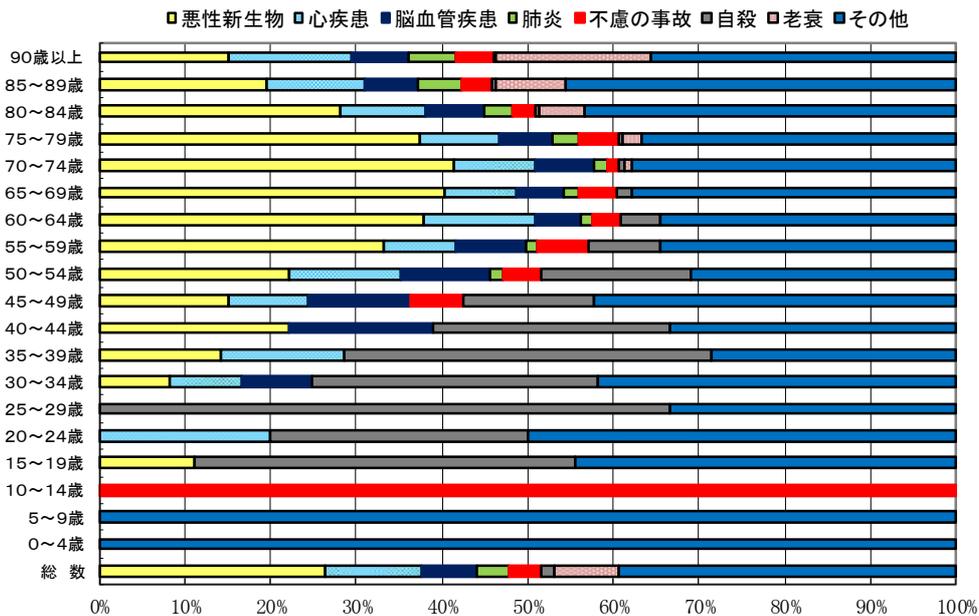
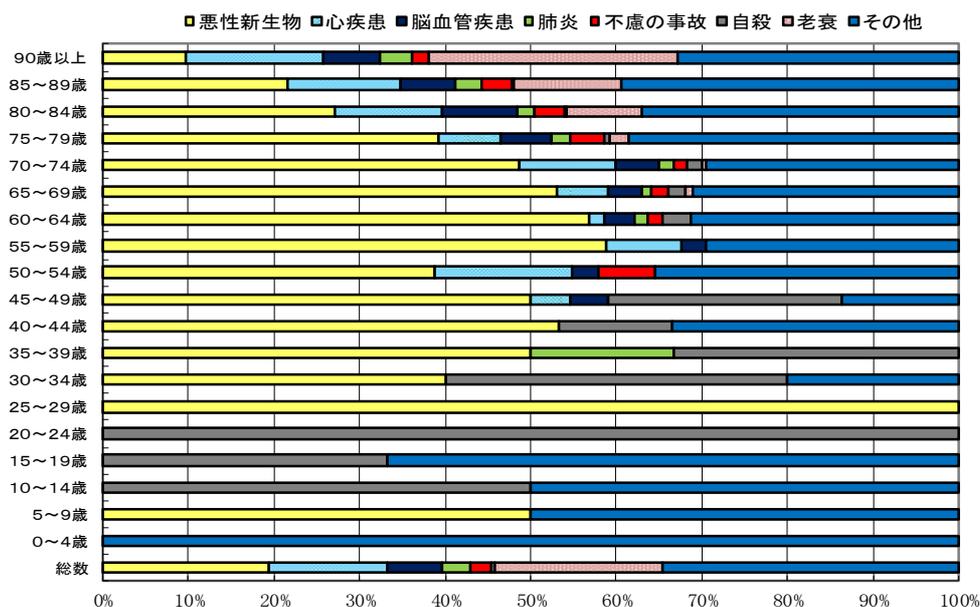


図6-2 性・年齢（5歳階級）別に見た主な死因の構成割合（女性）



③部位別に見た悪性新生物

悪性新生物について死亡数、死亡率（人口10万対）を主な部位別に見ると、男性では膵が上昇し、令和6年の死亡数は141人、死亡率は46.1となっている。女性では胃が上昇し、令和6年の死亡数は100人、死亡率は30.8となっている。また、肺は死亡数が136人で前年と同一であるが、死亡率は41.8で上昇している（表6、図7）。

表6 悪性新生物の主な部位別死亡数・死亡率（人口10万対）の年次推移

死亡数

性別	部位	S30	40	50	60	H8	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6
男性	胃	250	314	293	273	263	267	230	227	242	230	218	237	216	208	207	197	176	164	191	189	155	142
	肺	19	61	82	169	250	299	363	301	352	305	347	336	363	319	305	328	361	308	359	358	330	291
	肝	54	55	65	121	206	208	191	173	155	159	143	159	137	141	122	115	129	133	113	102	118	102
	膵	8	23	26	54	84	92	89	113	100	101	114	119	119	137	118	107	112	104	128	122	117	141
	大腸	23	42	48	79	151	163	164	168	177	192	157	175	171	178	158	148	174	142	168	183	188	147
女性	胃	165	179	202	149	159	137	152	137	137	146	149	134	116	109	130	115	122	111	118	142	94	100
	肺	8	18	32	52	109	98	107	123	101	137	112	126	118	128	139	129	124	134	118	127	136	136
	肝	37	33	35	55	89	99	90	88	85	84	103	80	76	90	88	64	57	74	57	55	58	50
	膵	6	17	24	40	68	89	92	99	128	96	101	92	115	133	121	117	132	127	155	134	148	141
	乳房	18	16	25	28	38	43	54	65	56	62	63	67	72	78	55	73	87	59	71	57	71	60
	子宮	93	71	57	40	38	25	21	36	30	30	34	35	29	26	33	38	35	27	31	50	36	32
大腸	30	44	48	85	123	125	150	140	154	153	165	150	160	159	177	173	169	164	173	168	179	174	

死亡率

性別	部位	S30	40	50	60	H8	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R元	2	3	4	5	6
男性	胃	54.7	79.8	80.0	71.7	71.7	73.7	65.2	66.5	71.4	68.2	65.3	71.4	65.3	63.2	63.5	60.8	54.8	51.3	60.3	60.2	50.0	46.4
	肺	4.2	15.5	22.4	44.4	68.1	82.6	102.8	88.2	103.8	90.5	103.9	101.2	109.7	97.0	93.6	101.2	112.5	96.3	113.2	114.0	106.5	95.1
	肝	11.8	14.0	17.7	31.8	56.1	57.4	54.1	50.7	45.7	47.2	42.8	47.9	41.4	42.9	37.4	35.5	40.2	41.6	35.6	32.5	38.1	33.3
	膵	1.8	5.8	7.1	14.2	22.9	25.4	25.2	33.1	29.5	30.0	34.1	35.8	36.0	41.6	36.2	33.0	34.9	32.5	40.4	38.9	37.7	46.1
	大腸	5.0	10.7	13.1	20.7	41.1	45.0	46.5	49.2	52.2	57.0	47.0	52.7	51.7	54.1	48.5	45.7	54.2	44.4	53.0	58.3	60.6	48.0
女性	胃	34.9	41.8	50.4	35.8	39.8	34.7	39.3	36.9	37.1	39.9	41.0	37.2	32.4	30.7	37.0	33.0	35.5	32.4	34.9	42.5	28.5	30.8
	肺	1.7	4.2	8.0	12.5	27.3	24.8	27.6	33.1	27.4	37.4	30.9	35.0	32.9	36.1	39.6	37.1	36.0	39.2	34.9	38.0	41.2	41.8
	肝	7.8	7.7	8.7	13.2	22.3	25.1	23.3	23.7	23.0	23.0	28.4	22.2	21.2	25.4	25.1	18.4	16.6	21.6	16.9	16.5	17.6	15.4
	膵	1.3	4.0	6.0	9.6	17.0	22.5	23.8	26.7	34.7	26.2	27.8	25.6	32.1	37.5	34.5	33.6	38.4	37.1	45.9	40.1	44.8	43.4
	乳房	3.8	3.7	6.2	6.7	9.5	10.9	14.0	17.5	15.2	16.9	17.4	18.6	20.1	22.0	15.7	21.0	25.3	17.2	21.0	17.1	21.5	18.5
	子宮	19.7	16.6	14.2	9.6	9.5	6.3	5.4	9.7	8.1	8.2	9.4	9.7	8.1	7.3	9.4	10.9	10.2	7.9	9.2	15.0	10.9	9.8
大腸	6.4	10.3	12.0	20.4	30.8	31.7	38.8	37.7	41.7	41.8	45.5	41.7	44.7	44.8	50.4	49.7	49.1	47.9	51.2	50.3	54.2	53.5	

注：大腸の悪性新生物は、結腸と直腸 S 状結腸移行部及び直腸を示す。
ただし、昭和40年は十二指腸と小腸を含み、昭和50年は肛門を含む。

図 7-1 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口 10 万対）の年次推移（男性）

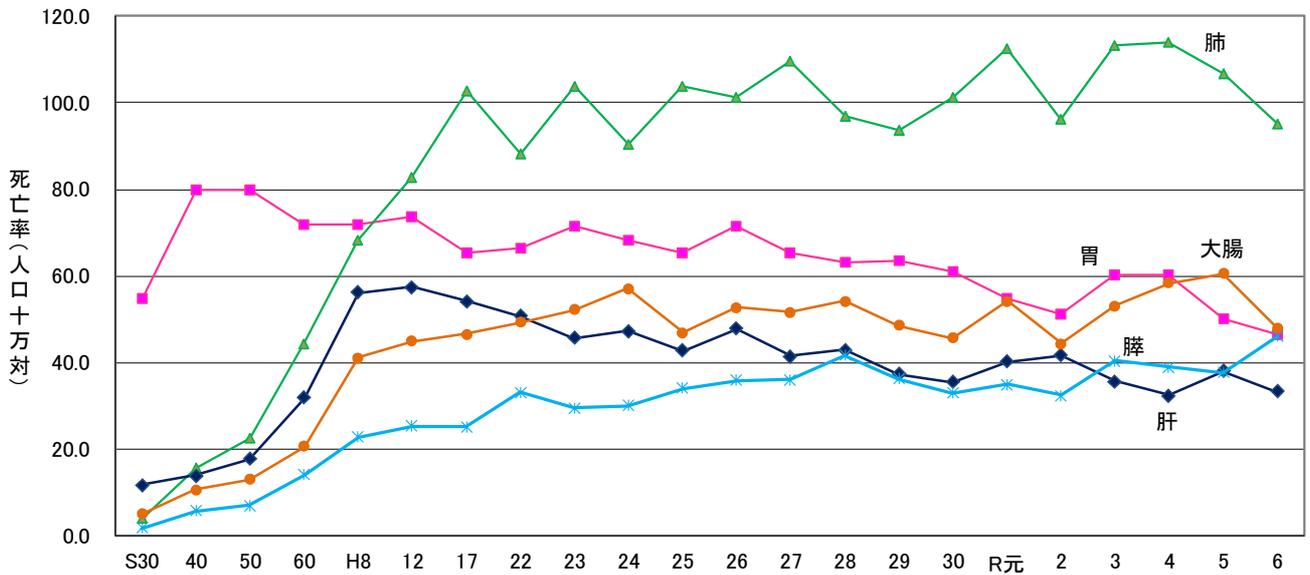
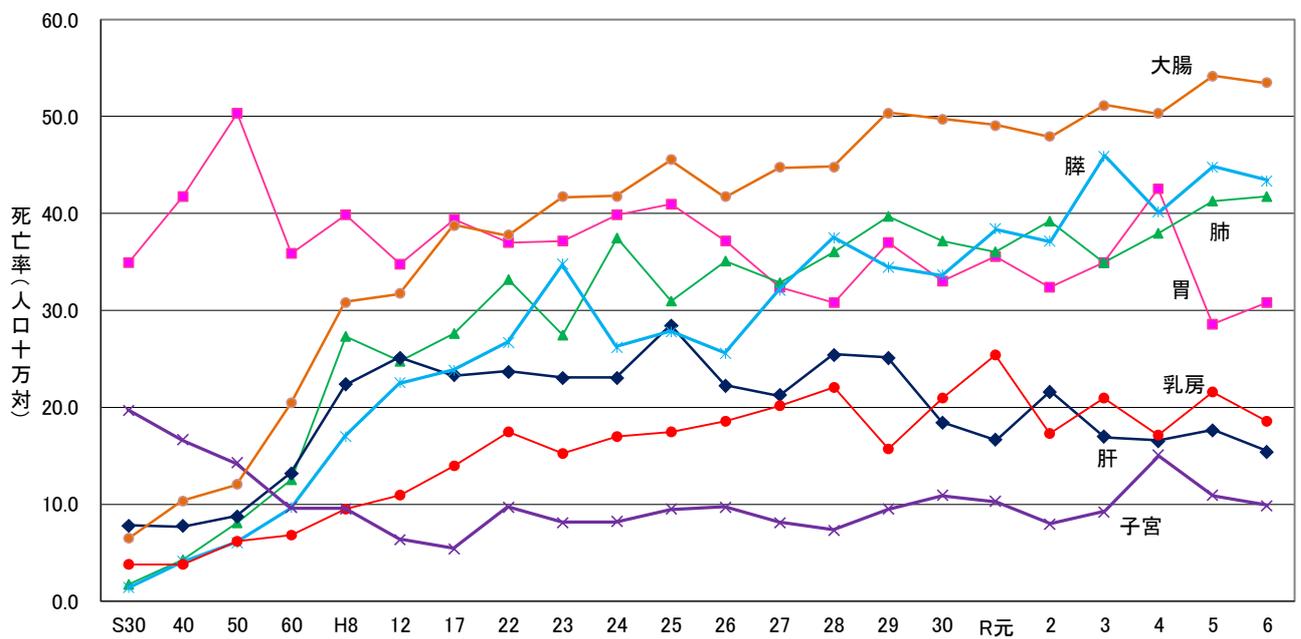


図 7-2 悪性新生物の主な部位別死亡率（人口 10 万対）の年次推移（女性）



4 婚姻

令和6年の婚姻件数は1,982組で、前年の2,095組から113組減少した。婚姻率（人口千対）は3.1で、前年の3.3を0.2下回った。

婚姻率の年次推移をみると、第1次婚姻ブームである昭和22、23年は高かったものの、以後急激に低下していった。その後わずかに増加に転じ、昭和33年には7.9まで回復した。また、戦後のベビーブームに生まれた子供が適齢期に達した昭和46年には再び7.5まで上昇したが、その後は年々低下し、平成元年は4.4となった。平成元年以降はほぼ横ばいに推移していたが、近年は再び低下が続いており、令和6年は前年を下回り、過去最低の3.1となった（図8）。

平均初婚年齢は夫が30.5歳、妻が29.3歳であり、晩婚化傾向が続いている（表7）。

図8 婚姻率の年次推移

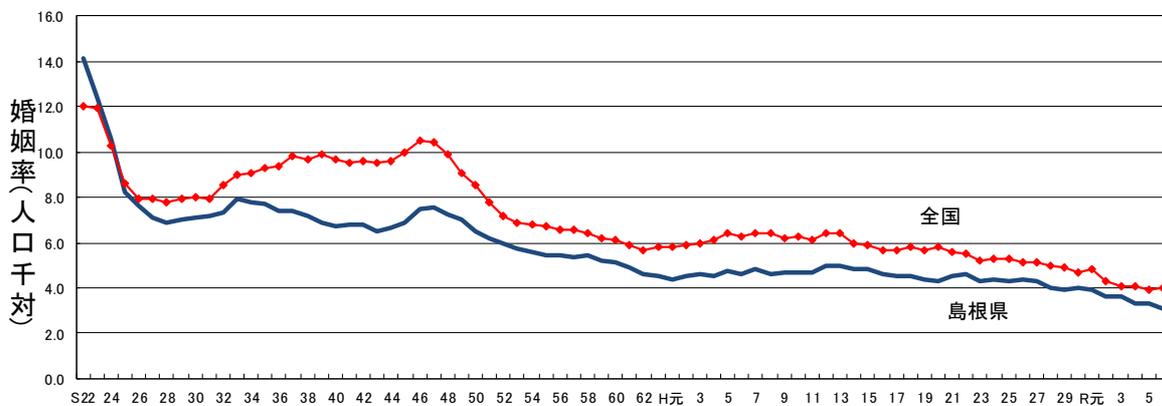


表7 平均初婚年齢の年次推移

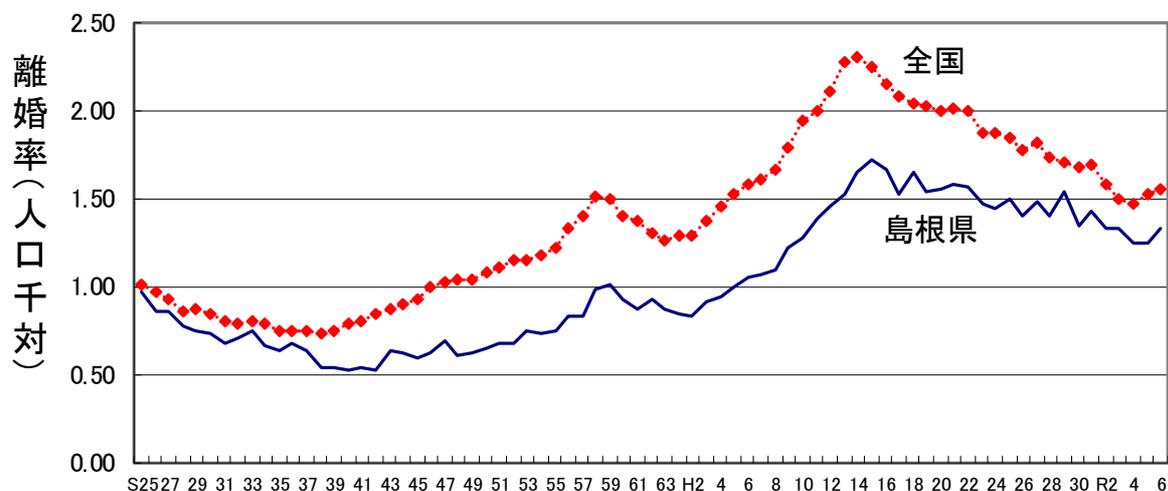
	夫		妻	
	島根県	全国	島根県	全国
昭和40	27.3	27.2	24.5	24.5
45	26.8	26.9	24.1	24.2
50	26.8	27.0	24.5	24.7
55	27.6	27.8	25.0	25.2
60	28.1	28.2	25.3	25.5
平成2	28.4	28.4	25.7	25.9
7	28.4	28.5	25.9	26.3
12	28.3	28.8	26.6	27.0
17	29.1	29.8	27.4	28.0
22	30.0	30.5	28.4	28.8
23	30.3	30.7	28.5	29.0
24	30.4	30.8	28.6	29.2
25	30.5	30.9	29.0	29.3
26	30.7	31.1	28.9	29.4
27	30.4	31.1	29.1	29.4
28	30.4	31.1	28.7	29.4
29	30.5	31.1	29.0	29.4
30	30.6	31.1	29.1	29.4
令和元	30.3	31.2	29.0	29.6
2	30.3	31.0	28.9	29.4
3	30.4	31.0	29.0	29.5
4	30.3	31.1	29.1	29.7
5	30.0	31.1	28.9	29.7
6	30.5	31.1	29.3	29.8

5 離婚

令和6年の離婚件数は830件で、前年の799組から31組増加した。離婚率（人口千対）は1.32で、前年の1.25を上回った。

離婚率の年次推移をみると、昭和42年までは低下傾向にあったが、その後は増減を繰り返しつつ上昇し、平成15年には過去最高の1.71を記録した。その後増減を繰り返し、近年では緩やかに下降推移している。また、全国平均と比べると低くなっている（図9）。

図9 離婚率の年次推移



統計表

第1表 人口動態総覧(実数)の年次推移

年次	出生数			死亡数			(再掲)					
	総数	男	女	総数	男	女	乳児(1歳未満)死亡数			新生児(生後28日未満)死亡数		
							総数	男	女	総数	男	女
昭和 35 年	14,113	7,160	6,953	8,434	4,483	3,951	495	285	210	277	152	125
36	13,198	6,780	6,418	8,271	4,324	3,947	412	223	189	238	140	98
37	12,661	6,486	6,175	8,249	4,292	3,957	391	206	185	225	127	98
38	12,309	6,270	6,039	8,316	4,302	4,014	352	196	156	231	128	103
39	12,136	6,213	5,923	7,793	4,071	3,722	262	141	121	170	93	77
40	11,796	5,996	5,800	8,176	4,356	3,820	269	146	123	171	94	77
41	8,630	4,525	4,105	7,499	4,026	3,473	178	88	90	120	60	60
42	12,075	6,205	5,870	7,380	3,919	3,461	207	117	90	143	85	58
43	10,993	5,688	5,305	7,660	4,034	3,626	175	109	66	112	74	38
44	10,704	5,666	5,038	7,584	4,032	3,552	171	107	64	96	66	30
45	10,539	5,486	5,053	7,789	4,197	3,592	149	95	54	97	60	37
46	10,767	5,598	5,169	7,340	3,933	3,407	151	89	62	94	57	37
47	10,938	5,514	5,424	7,233	3,771	3,462	116	56	60	75	37	38
48	11,618	6,064	5,554	7,214	3,847	3,367	133	83	50	87	56	31
49	11,409	5,919	5,490	7,189	3,837	3,352	121	73	48	82	54	28
50	10,939	5,557	5,382	7,197	3,835	3,362	105	69	36	74	51	23
51	10,511	5,463	5,048	7,179	3,870	3,309	103	64	39	69	45	24
52	10,381	5,414	4,967	6,978	3,780	3,198	92	49	43	63	32	31
53	10,247	5,401	4,846	6,820	3,704	3,116	84	53	31	54	33	21
54	10,136	5,245	4,891	6,747	3,608	3,139	69	44	25	50	32	18
55	9,959	5,039	4,920	7,105	3,801	3,304	95	55	40	71	41	30
56	9,720	4,966	4,754	6,745	3,605	3,140	71	39	32	47	28	19
57	9,366	4,836	4,530	6,671	3,551	3,120	57	29	28	38	23	15
58	9,536	4,905	4,631	7,040	3,799	3,241	60	33	27	36	25	11
59	9,278	4,732	4,546	6,663	3,615	3,048	61	41	20	33	23	10
60	9,051	4,609	4,442	6,633	3,519	3,114	47	21	26	26	12	14
61	8,828	4,561	4,267	6,696	3,609	3,087	60	34	26	30	20	10
62	8,523	4,383	4,140	6,553	3,558	2,995	51	29	22	36	21	15
63	8,156	4,150	4,006	6,862	3,628	3,234	39	21	18	19	11	8
平成 元 年	7,759	4,006	3,753	6,907	3,773	3,134	30	16	14	18	11	7
2	7,510	3,859	3,651	7,078	3,823	3,255	50	28	22	25	17	8
3	7,390	3,789	3,601	7,045	3,842	3,203	30	18	12	16	8	8
4	7,081	3,629	3,452	7,280	3,979	3,301	31	22	9	12	7	5
5	6,959	3,502	3,457	7,280	3,953	3,327	25	15	10	10	6	4
6	7,068	3,565	3,503	7,337	3,907	3,430	35	16	19	14	6	8
7	6,764	3,455	3,309	7,687	4,124	3,563	32	13	19	16	8	8
8	6,828	3,544	3,284	7,501	3,915	3,586	34	18	16	16	12	4
9	6,518	3,360	3,158	7,554	4,063	3,491	23	9	14	10	3	7
10	6,491	3,242	3,249	7,384	3,962	3,422	27	12	15	14	5	9
11	6,394	3,276	3,118	8,204	4,348	3,856	26	13	13	16	8	8
12	6,522	3,349	3,173	7,700	4,213	3,487	16	10	6	7	4	3
13	6,640	3,417	3,223	7,666	4,111	3,555	23	13	10	15	10	5
14	6,318	3,224	3,094	7,837	4,184	3,653	20	11	9	10	6	4
15	6,092	3,148	2,908	8,050	4,375	3,675	21	15	6	9	8	1
16	6,104	3,087	3,017	8,212	4,365	3,847	18	8	10	10	5	5
17	5,697	2,869	2,828	8,557	4,539	4,018	18	13	5	7	4	3
18	6,011	3,090	2,921	8,453	4,357	4,096	16	11	5	8	5	3
19	5,914	3,051	2,863	8,660	4,521	4,139	13	8	5	6	2	4
20	5,685	2,908	2,777	9,011	4,604	4,407	11	6	5	5	3	2
21	5,601	2,891	2,710	8,854	4,548	4,306	11	10	1	6	5	1
22	5,756	2,928	2,828	9,109	4,621	4,488	13	10	3	7	6	1
23	5,582	2,816	2,766	9,412	4,790	4,622	11	4	7	5	1	4
24	5,585	2,975	2,610	9,513	4,704	4,809	11	7	4	6	4	2
25	5,534	2,804	2,730	9,572	4,713	4,859	13	7	6	6	4	2
26	5,359	2,730	2,629	9,369	4,692	4,677	13	11	2	3	3	-
27	5,551	2,948	2,603	9,604	4,708	4,896	8	3	5	6	2	4
28	5,300	2,729	2,571	9,562	4,605	4,957	11	8	3	4	3	1
29	5,109	2,619	2,490	9,694	4,596	5,098	9	5	4	4	3	1
30	4,887	2,526	2,361	9,724	4,611	5,113	9	7	2	4	3	1
令和 元 年	4,594	2,353	2,241	9,710	4,759	4,951	10	4	6	4	1	3
2	4,473	2,290	2,183	9,585	4,581	5,004	12	6	6	8	3	5
3	4,415	2,262	2,153	9,851	4,811	5,040	4	3	1	1	-	1
4	4,161	2,088	2,073	10,434	5,061	5,373	4	1	3	1	-	1
5	3,759	1,886	1,873	10,461	5,114	5,347	9	5	4	4	3	1
6	3,622	1,839	1,783	10,440	4,983	5,457	3	2	1	1	0	1

注(1) 周産期死亡数は、平成6年までは妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものであり、平成7年からは妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものであるため、年次比較には注意を要する。
 (2) 令和6年は概数である。

昭和35年～令和6年

自然増減数	死産数			周産期死亡数			婚姻 件数	離婚 件数	年次
	総 数	自 然	人 工	総 数	妊娠満22週 以後の死産	早期新生 児死亡			
5,679	1,827	669	1,158	6,888	563	35
4,927	1,844	694	1,150	6,541	592	36
4,412	1,751	663	1,088	6,452	551	37
3,993	1,667	632	1,035	6,171	461	38
4,343	1,506	587	919	5,846	448	39
3,620	1,334	560	774	5,514	432	40
1,131	1,189	461	728	5,525	431	41
4,695	1,099	486	613	5,457	416	42
3,333	998	450	548	245	161	84	5,139	503	43
3,120	965	465	500	232	161	71	5,210	485	44
2,750	907	444	463	235	158	77	5,334	460	45
3,427	839	426	413	226	151	75	5,713	477	46
3,705	808	431	377	188	127	61	5,751	522	47
4,404	743	390	353	199	126	73	5,502	460	48
4,220	684	383	301	211	142	69	5,334	469	49
3,742	621	329	292	188	127	61	4,980	499	50
3,332	591	306	285	146	84	62	4,763	515	51
3,403	556	263	293	140	90	50	4,610	520	52
3,427	519	276	243	139	94	45	4,459	580	53
3,389	488	237	251	120	77	43	4,377	574	54
2,854	470	263	207	141	78	63	4,243	579	55
2,975	465	248	217	109	70	39	4,235	650	56
2,695	473	235	238	102	69	33	4,205	651	57
2,496	443	229	214	94	62	32	4,253	770	58
2,615	417	200	217	80	53	27	4,127	789	59
2,418	424	204	220	75	58	17	4,089	742	60
2,132	386	177	209	61	36	25	3,859	688	61
1,970	317	146	171	70	41	29	3,653	732	62
1,294	333	130	203	37	24	13	3,562	684	63
852	301	149	152	52	39	13	3,438	661	平成元年
432	291	131	160	42	25	17	3,513	645	2
345	282	111	171	35	25	10	3,587	702	3
-199	287	116	171	30	21	9	3,515	730	4
-321	254	97	157	32	24	8	3,637	769	5
-269	216	100	116	29	17	12	3,540	809	6
-923	196	92	104	49	37	12	3,699	818	7
-673	217	103	114	42	29	13	3,520	836	8
-1,036	187	70	117	33	26	7	3,562	930	9
-893	210	80	130	43	30	13	3,562	965	10
-1,810	218	87	131	44	32	12	3,570	1,050	11
-1,178	201	73	128	32	27	5	3,772	1,095	12
-1,026	209	81	128	40	33	7	3,803	1,146	13
-1,519	185	69	116	26	19	7	3,614	1,235	14
-1,958	178	64	114	29	23	6	3,569	1,278	15
-2,108	191	68	123	24	18	6	3,441	1,235	16
-2,860	170	61	109	31	24	7	3,345	1,124	17
-2,442	160	56	104	24	18	6	3,305	1,199	18
-2,746	155	67	88	31	27	4	3,203	1,119	19
-3,326	155	73	82	22	19	3	3,103	1,117	20
-3,253	144	66	78	26	24	2	3,220	1,127	21
-3,353	143	67	76	23	17	6	3,283	1,110	22
-3,830	136	51	85	13	9	4	3,058	1,043	23
-3,928	138	57	81	19	14	5	3,114	1,014	24
-4,038	131	54	77	20	16	4	2,992	1,045	25
-4,010	124	65	59	17	17	-	3,022	966	26
-4,053	107	41	66	14	10	4	2,931	1,022	27
-4,262	136	78	58	17	15	2	2,753	949	28
-4,585	110	51	59	13	9	4	2,662	1,035	29
-4,837	99	51	48	18	15	3	2,672	901	30
-5,116	98	54	44	17	14	3	2,625	945	令和元年
-5,112	91	60	31	24	18	6	2,398	877	2
-5,436	80	43	37	13	12	1	2,337	863	3
-6,273	71	45	26	15	14	1	2,167	813	4
-6,702	65	41	24	11	7	4	2,095	799	5
-6,818	90	52	38	14	13	1	1,982	830	6

第2表 人口動態総覧(率)の年次推移

昭和25年～令和6年

年次	出生率 (人口千対)	死亡率 (人口千対)	乳児死 亡率 (出生千対)	新生児 死亡率 (出生千対)	自然 増減率 (人口千対)	死産率(出産*1千対)			周産期 死亡率 (出産*2 千対)	妊娠満22週 以後の死産率 (出産*2 千対)	早期新生児 死亡率 (出生千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)
						総数	自然	人工					
昭和 25年	28.3	12.8	63.9	...	15.5	91.9	40.1	51.0	8.2	0.97
26	25.2	11.0	56.8	29.4	14.1	102.6	39.7	62.9	7.6	0.85
27	22.7	10.5	51.7	28.5	12.2	106.8	39.4	67.4	7.1	0.86
28	21.5	10.5	50.3	28.0	11.0	104.5	37.5	67.0	6.9	0.77
29	19.3	9.7	47.0	27.6	9.6	107.6	38.6	69.1	7.0	0.75
30	18.5	9.0	41.2	24.8	9.4	108.5	36.6	71.9	7.1	0.73
31	18.0	9.8	42.1	25.4	8.2	105.3	37.0	68.3	7.2	0.67
32	16.2	9.7	42.4	24.2	6.5	122.2	40.6	81.6	7.3	0.70
33	16.8	8.8	36.1	21.4	8.0	125.4	44.4	81.1	7.9	0.74
34	16.6	8.9	36.7	23.4	7.6	118.5	40.9	70.8	7.8	0.66
35	15.9	9.5	35.1	19.6	6.4	114.6	42.0	72.6	7.7	0.63
36	15.0	9.4	31.2	18.0	5.6	123.1	46.0	76.3	7.4	0.67
37	14.6	9.5	30.9	17.8	5.1	121.9	45.9	75.4	7.4	0.63
38	14.4	9.7	28.6	18.8	4.7	119.3	45.2	74.0	7.2	0.54
39	14.4	9.3	21.6	14.0	5.2	110.7	43.1	67.4	6.9	0.53
40	14.4	10.0	22.8	14.5	4.4	101.6	42.7	58.9	6.7	0.53
41	10.7	9.3	20.6	13.9	1.4	121.1	46.9	74.1	6.8	0.53
42	15.1	9.2	17.1	11.8	5.9	83.4	36.9	46.5	6.8	0.52
43	13.9	9.7	15.9	10.2	4.2	83.2	37.5	45.7	6.5	0.64
44	13.7	9.7	16.0	9.0	4.0	82.7	39.8	42.8	6.7	0.62
45	13.7	10.1	14.1	9.2	3.6	79.2	38.8	40.5	6.9	0.60
46	14.1	9.6	14.0	8.7	4.5	72.3	36.7	35.6	7.5	0.62
47	14.4	9.5	10.6	6.9	4.9	68.8	36.7	32.1	7.5	0.69
48	15.2	9.5	11.4	7.5	5.8	60.1	31.6	28.6	7.2	0.60
49	15.0	9.4	10.6	7.2	5.5	56.6	31.7	24.9	7.0	0.61
50	14.3	9.4	9.6	6.8	4.9	53.7	28.5	25.3	6.5	0.65
51	13.7	9.3	9.8	6.6	4.3	53.2	27.6	25.7	6.2	0.67
52	13.4	9.0	8.9	6.1	4.4	50.8	24.0	26.8	6.0	0.67
53	13.2	8.8	8.2	5.3	4.4	48.2	25.6	22.6	5.7	0.75
54	13.0	8.7	6.8	4.9	4.3	45.9	22.3	23.6	5.6	0.74
55	12.7	9.1	9.5	7.1	3.6	45.1	25.2	19.8	5.4	0.74
56	12.4	8.6	7.3	4.8	3.8	45.7	24.3	21.3	5.4	0.83
57	11.9	8.5	6.1	4.1	3.4	48.1	23.9	24.2	5.3	0.83
58	12.1	9.0	6.3	3.8	3.2	44.4	22.9	21.4	5.4	0.98
59	11.8	8.5	6.6	3.6	3.3	43.0	20.6	22.4	5.2	1.00
60	11.3	8.3	5.2	2.9	3.0	44.7	21.5	23.2	5.1	0.93
61	11.1	8.5	6.8	3.4	2.7	41.9	19.2	22.7	4.9	0.87
62	10.8	8.3	6.0	4.2	2.5	35.9	16.5	19.3	4.6	0.92
63	10.3	8.7	4.8	2.3	1.6	39.2	15.3	23.9	4.5	0.87
平成 元年	9.9	8.8	3.9	2.3	1.1	37.3	18.5	18.9	4.4	0.84
2	9.6	9.1	6.7	3.3	0.6	37.3	16.8	20.5	4.5	0.83
3	9.5	9.1	4.1	2.2	0.4	36.8	14.5	22.3	4.6	0.90
4	9.2	9.4	4.4	1.7	△ 0.3	39.0	15.7	23.2	4.5	0.94
5	9.0	9.5	3.6	1.4	△ 0.4	35.2	13.4	21.8	4.7	1.00
6	9.2	9.5	5.0	2.0	△ 0.3	29.7	13.7	15.9	4.6	1.05
7	8.8	10.0	4.7	2.4	△ 1.2	28.2	13.2	14.9	7.2	5.4	1.8	4.8	1.06
8	8.9	9.8	5.0	2.3	△ 0.9	30.8	14.6	16.2	6.1	4.2	1.9	4.6	1.09
9	8.5	9.9	3.5	1.5	△ 1.4	27.9	10.4	17.4	5.0	4.0	1.1	4.7	1.22
10	8.5	9.7	4.2	2.2	△ 1.2	31.3	11.9	19.4	6.6	4.6	2.0	4.7	1.27
11	8.4	10.8	4.1	2.5	△ 2.4	33.0	13.2	19.8	6.8	5.0	1.9	4.7	1.38
12	8.6	10.2	2.5	1.1	△ 1.6	29.9	10.9	19.0	4.9	4.1	0.8	5.0	1.45
13	8.8	10.1	3.5	2.3	△ 1.4	30.5	11.8	18.7	6.0	4.9	1.1	5.0	1.52
14	8.4	10.4	3.2	1.6	△ 2.0	28.4	10.6	17.8	4.3	3.2	1.1	4.8	1.64
15	8.1	10.7	3.4	1.5	△ 2.6	28.4	10.2	18.2	4.7	3.8	1.0	4.8	1.71
16	8.2	11.0	2.9	1.6	△ 2.8	30.3	10.8	19.5	3.9	2.9	1.0	4.6	1.66
17	7.7	11.6	3.2	1.2	△ 3.9	29.0	10.4	18.6	5.4	4.2	1.2	4.5	1.52
18	8.2	11.5	2.7	1.3	△ 3.3	25.9	9.1	16.9	4.0	3.0	1.0	4.5	1.64
19	8.1	11.9	2.2	1.0	△ 3.8	25.5	11.0	14.5	5.2	4.5	0.7	4.4	1.54
20	7.9	12.5	1.9	0.9	△ 4.6	26.5	12.5	14.0	3.9	3.3	0.5	4.3	1.55
21	7.8	12.4	2.0	1.1	△ 4.5	25.1	11.5	13.6	4.6	4.3	0.4	4.5	1.58
22	8.1	12.8	2.3	1.2	△ 4.7	24.2	11.4	12.9	4.0	2.9	1.0	4.6	1.56
23	7.9	13.3	2.0	0.9	△ 5.4	23.8	8.9	14.9	2.3	1.6	0.7	4.3	1.47
24	8.0	13.6	2.0	1.1	△ 5.6	24.1	10.0	14.2	3.4	2.5	0.9	4.4	1.44
25	7.9	13.7	2.3	1.1	△ 5.8	23.1	9.5	13.6	3.6	2.9	0.7	4.3	1.50
26	7.7	13.5	2.4	0.6	△ 5.8	22.6	11.9	10.8	3.2	3.2	0.0	4.4	1.40
27	8.1	13.9	1.4	1.1	△ 5.9	18.9	7.2	11.7	2.5	1.8	0.7	4.3	1.48
28	7.7	14.0	2.1	0.8	△ 6.2	25.0	14.3	10.7	3.2	2.8	0.4	4.0	1.39
29	7.5	14.3	1.8	0.8	△ 6.8	21.1	9.8	11.3	2.5	1.8	0.8	3.9	1.53
30	7.3	14.5	1.8	0.8	△ 7.2	19.9	10.2	9.6	3.7	3.1	0.6	4.0	1.34
令和 元年	6.9	14.6	2.2	0.9	△ 7.7	20.9	11.5	9.4	3.7	3.0	0.7	3.9	1.42
2	6.8	14.5	2.7	1.8	△ 7.7	19.9	13.1	6.8	5.3	4.0	1.3	3.6	1.32
3	6.7	15.0	0.9	0.2	△ 8.3	17.8	9.6	8.2	2.9	2.7	0.2	3.6	1.32
4	6.4	16.1	1.0	0.2	△ 9.7	16.8	10.6	6.1	3.6	3.4	0.2	3.3	1.25
5	5.9	16.3	2.4	1.1	△ 10.5	17.0	10.7	6.3	2.9	1.9	1.1	3.3	1.25
6	5.7	16.5	0.8	0.3	△ 10.8	24.2	14.0	10.2	3.9	3.6	0.3	3.1	1.32

注(1) 出産*1は出生に死産を加えたもの、出産*2は出生に妊娠満22週以後の死産数を加えたものである。

(2) 令和6年は概数である。

第3表 母の年齢(5歳階級)別出生数の年次推移

(単位:人)

昭和50年～令和6年

年次	総数	母の年齢									
		～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳以上	不詳
昭和50年	10,939	-	68	2,764	5,931	1,805	329	42	-	-	-
51	10,511	-	63	2,537	6,037	1,524	302	45	3	-	-
52	10,381	-	64	2,264	6,076	1,664	269	41	3	-	-
53	10,247	-	51	2,131	5,807	1,914	305	35	4	-	-
54	10,136	-	44	2,079	5,497	2,213	265	37	1	-	-
55	9,959	-	54	1,923	5,257	2,371	311	43	-	-	-
56	9,720	-	55	1,802	5,065	2,469	290	39	-	-	-
57	9,366	-	53	1,762	4,749	2,408	365	28	1	-	-
58	9,536	-	75	1,777	4,821	2,377	448	37	1	-	-
59	9,278	-	79	1,613	4,697	2,342	504	41	2	-	-
60	9,051	-	94	1,491	4,614	2,286	519	45	2	-	-
61	8,828	-	68	1,432	4,428	2,323	541	36	-	-	-
62	8,523	-	86	1,389	4,184	2,296	515	52	1	-	-
63	8,156	-	64	1,194	3,988	2,373	477	59	1	-	-
平成元年	7,759	-	70	1,170	3,638	2,310	498	72	1	-	-
2	7,510	-	89	1,175	3,391	2,242	535	77	1	-	-
3	7,390	-	113	1,138	3,191	2,329	551	68	-	-	-
4	7,081	-	88	1,191	3,011	2,212	519	59	1	-	-
5	6,959	1	91	1,184	2,885	2,190	549	58	1	-	-
6	7,068	-	107	1,208	2,909	2,196	601	47	-	-	-
7	6,764	-	109	1,155	2,694	2,144	599	62	1	-	-
8	6,828	1	83	1,175	2,815	2,071	614	67	2	-	-
9	6,518	-	64	1,170	2,604	1,982	622	72	4	-	-
10	6,491	-	73	1,052	2,661	2,003	623	76	3	-	-
11	6,394	-	76	1,004	2,630	1,974	637	71	2	-	-
12	6,522	-	93	988	2,624	1,978	735	101	3	-	-
13	6,640	-	120	1,012	2,723	2,014	684	84	3	-	-
14	6,318	-	114	984	2,453	1,974	705	83	3	2	-
15	6,092	2	105	923	2,276	1,985	712	85	4	-	-
16	6,104	-	94	894	2,204	2,066	732	112	2	-	-
17	5,697	-	104	780	2,006	1,987	721	96	3	-	-
18	6,011	-	95	796	2,015	2,223	766	114	2	-	-
19	5,914	-	70	791	1,971	2,101	852	125	4	-	-
20	5,685	-	79	682	1,807	2,026	976	113	2	-	-
21	5,601	-	87	687	1,769	1,973	968	112	5	-	-
22	5,756	-	71	691	1,795	1,986	1,049	162	2	-	-
23	5,582	1	62	654	1,672	1,958	1,075	160	-	-	-
24	5,585	-	58	600	1,687	1,906	1,124	208	2	-	-
25	5,472	-	62	524	1,681	1,961	1,113	190	3	-	-
26	5,359	1	69	471	1,659	1,858	1,055	238	8	-	-
27	5,551	-	57	539	1,542	1,985	1,156	266	6	-	-
28	5,300	1	70	472	1,537	1,769	1,152	292	7	-	-
29	5,109	-	38	459	1,361	1,864	1,136	247	4	-	-
30	4,887	-	32	455	1,399	1,739	982	270	10	-	-
令和元年	4,594	-	33	417	1,308	1,593	1,015	225	3	-	-
2	4,473	-	37	393	1,304	1,508	976	245	10	-	-
3	4,415	-	35	341	1,246	1,568	984	231	10	-	-
4	4,161	-	13	344	1,224	1,448	894	227	11	-	-
5	3,759	-	22	285	1,070	1,361	811	207	3	-	-
6	3,622	-	14	298	1,027	1,308	757	213	4	1	-

注：令和6年は概数である。

第5表 死因简单分類別死亡数・死亡率(人口10万対)

死因简单分類	死亡数(人)		死亡率(人口10万対)		R6 死亡総数に占める割合(%)
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	
総 数	10440	10461	1654.5	1634.5	100
1000 感染症及び寄生虫症	174	142	27.6	22.2	1.7
1100 腸管感染症	13	21	2.1	3.3	0.1
1200 結核	8	5	1.3	0.8	0.1
1201 呼吸器結核	4	5	0.6	0.8	0
1202 その他の結核	4	-	0.6	-	0
1300 敗血症	67	57	10.6	8.9	0.6
1400 ウイルス性肝炎	13	6	2.1	0.9	0.1
1401 B型ウイルス性肝炎	5	1	0.8	0.2	0
1402 C型ウイルス性肝炎	6	4	1	0.6	0.1
1403 その他のウイルス性肝炎	2	1	0.3	0.2	0
1500 ヒト免疫不全ウイルス[HIV]病	-	-	-	-	-
1600 その他の感染症及び寄生虫症	73	53	11.6	8.3	0.7
2000 新生物<腫瘍>	2465	2543	390.6	397.3	23.6
2100 悪性新生物<腫瘍>	2369	2454	375.4	383.4	22.7
2101 口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物<腫瘍>	57	49	9	7.7	0.5
2102 食道の悪性新生物<腫瘍>	57	67	9	10.5	0.5
2103 胃の悪性新生物<腫瘍>	242	249	38.4	38.9	2.3
2104 結腸の悪性新生物<腫瘍>	222	258	35.2	40.3	2.1
2105 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	99	109	15.7	17	0.9
2106 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	152	176	24.1	27.5	1.5
2107 胆のう及びその他の胆道の悪性新生物<腫瘍>	103	110	16.3	17.2	1
2108 膵の悪性新生物<腫瘍>	282	265	44.7	41.4	2.7
2109 喉頭の悪性新生物<腫瘍>	1	6	0.2	0.9	0
2110 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	427	466	67.7	72.8	4.1
2111 皮膚の悪性新生物<腫瘍>	20	11	3.2	1.7	0.2
2112 乳房の悪性新生物<腫瘍>	60	71	9.5	11.1	0.6
2113 子宮の悪性新生物<腫瘍> 1)	32	36	9.8	10.9	0.3
2114 卵巣の悪性新生物<腫瘍> 1)	38	24	11.7	7.3	0.4
2115 前立腺の悪性新生物<腫瘍> 2)	84	84	27.5	27.1	0.8
2116 膀胱の悪性新生物<腫瘍>	75	73	11.9	11.4	0.7
2117 中枢神経系の悪性新生物<腫瘍>	22	18	3.5	2.8	0.2
2118 悪性リンパ腫	87	106	13.8	16.6	0.8
2119 白血病	65	58	10.3	9.1	0.6
2120 その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物<腫瘍>	29	29	4.6	4.5	0.3
2121 その他の悪性新生物<腫瘍>	215	189	34.1	29.5	2.1
2200 その他の新生物<腫瘍>	96	89	15.2	13.9	0.9

第5表 死因简单分類別死亡数・死亡率(人口10万対)

死因简单分類	死亡数(人)		死亡率(人口10万対)		R6 死亡総数に占める割合(%)
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	
2201 中枢神経系のその他の新生物<腫瘍>	19	17	3	2.7	0.2
2202 中枢神経系を除くその他の新生物<腫瘍>	77	72	12.2	11.3	0.7
3000 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	29	32	4.6	5	0.3
3100 貧血	20	12	3.2	1.9	0.2
3200 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	9	20	1.4	3.1	0.1
4000 内分泌、栄養及び代謝疾患	161	174	25.5	27.2	1.5
4100 糖尿病	82	99	13	15.5	0.8
4200 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	79	75	12.5	11.7	0.8
5000 精神及び行動の障害	272	259	43.1	40.5	2.6
5100 血管性及び詳細不明の認知症	237	237	37.6	37	2.3
5200 その他の精神及び行動の障害	35	22	5.5	3.4	0.3
6000 神経系の疾患	573	531	90.8	83	5.5
6100 髄膜炎	1	3	0.2	0.5	0
6200 脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	23	18	3.6	2.8	0.2
6300 パーキンソン病	108	110	17.1	17.2	1
6400 アルツハイマー病	262	246	41.5	38.4	2.5
6500 その他の神経系の疾患	179	154	28.4	24.1	1.7
7000 眼及び付属器の疾患	-	-	-	-	-
8000 耳及び乳様突起の疾患	-	-	-	-	-
9000 循環器系の疾患	2233	2465	353.9	385.2	21.4
9100 高血圧性疾患	65	68	10.3	10.6	0.6
9101 高血圧性心疾患及び心腎疾患	36	32	5.7	5	0.3
9102 その他の高血圧性疾患	29	36	4.6	5.6	0.3
9200 心疾患(高血圧性を除く)	1318	1405	208.9	219.5	12.6
9201 慢性リウマチ性心疾患	13	13	2.1	2	0.1
9202 急性心筋梗塞	109	131	17.3	20.5	1
9203 その他の虚血性心疾患	82	80	13	12.5	0.8
9204 慢性非リウマチ性心内膜疾患	110	97	17.4	15.2	1.1
9205 心筋症	23	35	3.6	5.5	0.2
9206 不整脈及び伝導障害	382	406	60.5	63.4	3.7
9207 心不全	559	611	88.6	95.5	5.4
9208 その他の心疾患	40	32	6.3	5	0.4
9300 脳血管疾患	681	780	107.9	121.9	6.5
9301 くも膜下出血	50	61	7.9	9.5	0.5
9302 脳内出血	207	216	32.8	33.8	2
9303 脳梗塞	407	491	64.5	76.7	3.9
9304 その他の脳血管疾患	17	12	2.7	1.9	0.2

第5表 死因简单分類別死亡数・死亡率(人口10万対)

死因简单分類	死亡数(人)		死亡率(人口10万対)		R6 死亡総数に占める割合(%)
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	
9400 大動脈瘤及び解離	116	153	18.4	23.9	1.1
9500 その他の循環器系の疾患	53	59	8.4	9.2	0.5
10000 呼吸器系の疾患	1214	1194	192.4	186.6	11.6
10100 インフルエンザ	16	2	2.5	0.3	0.2
10200 肺炎	359	335	56.9	52.3	3.4
10300 急性気管支炎	3	3	0.5	0.5	0
10400 慢性閉塞性肺疾患	87	105	13.8	16.4	0.8
10500 喘息	7	15	1.1	2.3	0.1
10600 その他の呼吸器系の疾患	742	734	117.6	114.7	7.1
10601 誤嚥性肺炎	498	444	78.9	69.4	4.8
10602 間質性肺疾患	152	175	24.1	27.3	1.5
10603 その他の呼吸器系の疾患 (10601及び10602を除く)	92	115	14.6	18	0.9
11000 消化器系の疾患	349	379	55.3	59.2	3.3
11100 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	9	19	1.4	3	0.1
11200 ヘルニア及び腸閉塞	51	56	8.1	8.8	0.5
11300 肝疾患	97	99	15.4	15.5	0.9
11301 肝硬変(アルコール性を除く)	57	45	9	7	0.5
11302 その他の肝疾患	40	54	6.3	8.4	0.4
11400 その他の消化器系の疾患	192	205	30.4	32	1.8
12000 皮膚及び皮下組織の疾患	22	21	3.5	3.3	0.2
13000 筋骨格系及び結合組織の疾患	80	62	12.7	9.7	0.8
14000 腎尿路生殖器系の疾患	423	397	67	62	4.1
14100 糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	90	96	14.3	15	0.9
14200 腎不全	223	199	35.3	31.1	2.1
14201 急性腎不全	19	16	3	2.5	0.2
14202 慢性腎臓病	172	152	27.3	23.8	1.6
14203 詳細不明の腎不全	32	31	5.1	4.8	0.3
14300 その他の腎尿路生殖器系の疾患	110	102	17.4	15.9	1.1
15000 妊娠、分娩及び産じょく¹⁾	-	-	-	-	-
16000 周産期に発生した病態	1	2	0.2	0.3	0
16100 妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	-	-	-	-	-
16200 出産外傷	-	-	-	-	-
16300 周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	1	2	0.2	0.3	0
16400 周産期に特異的な感染症	-	-	-	-	-
16500 胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	-	-	-	-	-
16600 その他の周産期に発生した病態	-	-	-	-	-
17000 先天奇形、変形及び染色体異常	13	15	2.1	2.3	0.1

第5表 死因简单分類別死亡数・死亡率(人口10万対)

死因简单分類	死亡数(人)		死亡率(人口10万対)		R6 死亡総数に占める割合(%)
	令和6年	令和5年	令和6年	令和5年	
17100 神経系の先天奇形	-	1	-	0.2	-
17200 循環器系の先天奇形	7	7	1.1	1.1	0.1
17201 心臓の先天奇形	3	7	0.5	1.1	0
17202 その他の循環器系の先天奇形	4	-	0.6	-	0
17300 消化器系の先天奇形	1	-	0.2	-	0
17400 その他の先天奇形及び変形	2	6	0.3	0.9	0
17500 染色体異常、他に分類されないもの	3	1	0.5	0.2	0
18000 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1662	1513	263.4	236.4	15.9
18100 老衰	1444	1314	228.8	205.3	13.8
18200 乳幼児突然死症候群	-	2	-	0.3	-
18300 その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	218	197	34.5	30.8	2.1
20000 傷病及び死亡の外因	547	492	86.7	76.9	5.2
20100 不慮の事故	320	285	50.7	44.5	3.1
20101 交通事故	19	28	3	4.4	0.2
20102 転倒・転落・墜落	102	68	16.2	10.6	1
20103 不慮の溺死及び溺水	66	52	10.5	8.1	0.6
20104 不慮の窒息	59	62	9.4	9.7	0.6
20105 煙、火及び火炎への曝露	5	2	0.8	0.3	0
20106 有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	3	2	0.5	0.3	0
20107 その他の不慮の事故	66	71	10.5	11.1	0.6
20200 自殺	103	115	16.3	18	1
20300 他殺	-	-	-	-	-
20400 その他の外因	124	92	19.7	14.4	1.2
22000 特殊目的用コード	222	240	35.2	37.5	2.1
22100 重症急性呼吸器症候群[SARS]	-	-	-	-	-
22200 その他の特殊目的用コード	222	240	35.2	37.5	2.1
22201 新型コロナウイルス感染症 3)	222	240	35.2	37.5	2.1
22202 新型コロナウイルス感染症ワクチン 4)	-	-	-	-	-
22203 その他の特殊目的用コード(22201及び22202を除く) 5)	-	-	-	-	-

注：・令和6年は概数

1)死亡率は、女性人口10万に対する率である。 2)死亡率は、男性人口10万に対する率である。

3) 4) 5) は、令和6年から新たに追加した項目である。

参 考

* 算出に用いた人口

表1 人口総数(日本人人口) (単位:人)

	総数	男	女
人口総数	631,000	306,000	325,000

資料: 「推計人口(R6年10月1日現在)」 (総務省統計局)

表2 年齢5歳階級・男女別人口(日本人人口) (単位:人)

年齢階級	総数	男	女
総数	631,000	306,000	325,000
0～4歳	21,000	10,000	10,000
5～9歳	26,000	13,000	12,000
10～14歳	28,000	14,000	14,000
15～19歳	29,000	15,000	14,000
20～24歳	24,000	13,000	11,000
25～29歳	23,000	12,000	11,000
30～34歳	26,000	14,000	13,000
35～39歳	31,000	16,000	15,000
40～44歳	36,000	18,000	17,000
45～49歳	42,000	22,000	20,000
50～54歳	44,000	22,000	21,000
55～59歳	38,000	19,000	19,000
60～64歳	40,000	20,000	20,000
65～69歳	44,000	22,000	22,000
70～74歳	51,000	25,000	26,000
75～79歳	47,000	22,000	25,000
80～84歳	34,000	14,000	20,000
85歳以上	50,000	15,000	35,000

資料: 「推計人口(R6年10月1日現在)」 (総務省統計局)

(注)数値は千人未満の位で四捨五入しているため、合計の数値と内訳の計は必ずしも一致しない。